

◆教科等研究グループ各部会からの報告

戸田市立教育センター等研究グループ（教育センター研究員）は、教師としての資質や指導力の向上と、戸田市の教育の充実を目的として研究を推進している。本年度は10部会が研究に取り組んだ。

社会部会

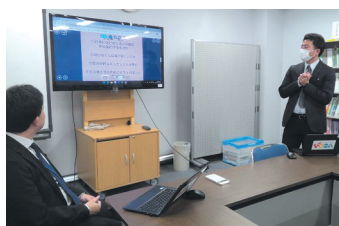
自ら学びに向かう社会科の授業とは
～「やりたい」「調べたい」を引き出す授業展開とは～

■研究内容

- ・自ら学びに向かう社会科の授業実践
- ・「やりたい」「調べたい」を引き出す授業展開の研究

■研究成果

- ・子供たちの学習意欲を高めるため、単元の導入を工夫することで、見通しをもちながら意欲的に学習に取り組む姿が見られた。
- ・「やりたい」「調べたい」を引き出すことができたため、教科書だけでなく、地図帳や資料集などの様々な資料を根拠に考えをまとめることができた。
- ・子供たちが自分に合った学び方を選択しながら、意欲的に学習を進めることができた。



算数・数学部会

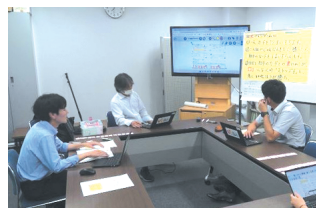
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり
～数学的な見方・考え方に着目して～

■研究内容

- ・主体的・対話的で深い学びを実現するための、数学的な見方・考え方を育む指導方法
- ・算数科における本質

■研究成果

- ・個々の実践事例報告を通して、数学的な見方・考え方を育てるための手がかり等を共有することができた。
- ・研修会報告や文献分析等、外部からの情報収集にも積極的に取り組み、部会内で話し合ったことを個々の授業実践にフィードバックすることができた。
- ・年間の活動を通して、研究部員間で算数・数学の「授業観」を共有することができた。



理科部会

ともに考え、議論し、解決する児童の育成

■研究内容

- ・研究員の思いを包含したものとして、「問題解決」「対話的活動」をキーワードとした研究を行う。
- ・研究員が理科の教材研究や授業を行う際の「困り感」や「大切にしていること」をテーマとした授業実践を行う。

■研究成果

- ・『学習ノート』を使用した具体的な授業実践「モデル実験を用いた課題解決」「導入の工夫」「考察の書き方」とそれぞれの視点から、研究テーマにせまることができた。
- ・本時の目標に適した導入やアウトプット（モデル実験・考察）を行うことで問題解決の力の育成につなげることができるようになってきた。



体育・保健体育部会

苦手な子も得意な子も「やりたい！」が増える授業づくりに向けて

■研究内容

- ・効果的なICTの活用
- ・苦手な子も得意な子も活躍できるルールの工夫
- ・慣れの運動、場の設定の工夫

■研究成果

- ・授業内で動画撮影・視聴をしたことで、子供たち自身で課題を見付け、解決につなげることができた。
- ・バスケットボールの単元の際に、ドリブルなしゲームを行うことで、パスを回す意識や空いたスペースに走りこむ意識が生まれた。
- ・跳び箱運動の慣れの運動（サーキット）の際に、主運動につながるスモールステップの場を設けたことで、基礎感覚が身に付き、技への意欲が高まった。

